

武田薬品工業

本店：大阪市中央区道修町四丁目1番1号

---

【商号履歴】

武田薬品工業株式会社（1943年8月～）

株式会社武田長兵衛商店（1925年1月29日～1943年8月）

---

【株式上場履歴】

<東証1部> 1949年5月16日～

<大証1部> 1949年5月16日～

---

【合併履歴】

1944年7月 日 小西薬品株式会社

1944年7月 日 ラジウム製薬株式会社

---

【沿革】

天明元年(1781年)6月 当社創業、薬種商を開業

明治4年(1871年)5月 洋薬の輸入買付を開始

大正3年(1914年)8月 武田研究部を設置

大正4年(1915年)10月 武田製薬所(現・大阪工場)を開設

大正10年(1921年)8月 大五製薬合資会社(現・連結子会社「日本製薬株」)を設立

大正11年(1922年)6月 武田化学薬品株(現・連結子会社「和光純薬工業株」)を設立

大正14年(1925年)1月 株式会社武田長兵衛商店を設立

昭和18年(1943年)8月 武田薬品工業株式会社と社名変更

昭和19年(1944年)7月 小西薬品株式会社及びラジウム製薬株式会社を合併

昭和21年(1946年)5月 光工場(山口県)を開設

昭和24年(1949年)5月 東京証券取引所及び大阪証券取引所に株式を上場

昭和32年(1957年)11月 武田食品工業株(現・連結子会社)を設立

昭和33年(1958年)8月 新総合研究所が落成

昭和35年(1960年)6月 製薬・医薬販売・食品・化学品・外国の各事業部を設置

昭和37年(1962年)8月 台湾に台湾武田株(現・連結子会社)を設立

昭和38年(1963年)1月 湘南工場(神奈川県)を開設

昭和39年(1964年)5月 ドイツにドイツ武田(有)(連結子会社 後に「タケダ・ヨーロッパ(有)」へ改称)を設立

昭和42年(1967年)2月 米国に米国武田株(連結子会社 後に「タケダ・ケミカル・プロダクツ米国株」と合併)を設立

昭和46年(1971年)9月 インドネシアにインドネシア武田株(現・連結子会社)を設立

昭和53年(1978年)9月 フランスにカセーヌ武田株(現・連結子会社「ラボラトワール・タケダ株」)を設立

昭和56年(1981年)12月 米国にウィルタック株(連結子会社 後に「タケダ・ケミカル・プロダクツ米国株」へ改称)を設立

昭和57年(1982年)6月 イタリアにタケダ・イタリア・ファルマチェウティチ株(現・連結子会社)を設立

昭和59年(1984年)4月 大阪・東京両本社制を敷く

昭和60年(1985年)5月 米国にTAPファーマシューティカルズ(株)(現・持分法適用関連会社「TAPファーマシューティカル・プロダクツ(株)」)を設立

昭和63年(1988年)1月 筑波研究所(茨城県)を開設

平成4年(1992年)1月 本店を大阪市中央区道修町四丁目1番1号(現在地)に移転

平成5年(1993年)3月 米国にタケダ・アメリカ(株)(現・連結子会社「武田アメリカ・ホールディングス(株)」)を設立

平成6年(1994年)3月 中国に天津武田薬品(有)(現・連結子会社)を設立

平成8年(1996年)4月 医療用医薬品以外の事業部門に社内カンパニー制を導入

平成9年(1997年)4月 英国に英国武田(株)(現・連結子会社)を設立

平成9年(1997年)10月 米国に武田アメリカ研究開発センター(株)(連結子会社 後に「武田ファーマシューティカルズ・アメリカ(株)」と合併)を設立

平成9年(1997年)10月 アイルランドに武田アイルランド(株)(現・連結子会社)を設立

平成9年(1997年)12月 米国に武田アメリカ・ホールディングス(株)(連結子会社 後に「タケダ・アメリカ(株)」と合併)を設立

平成10年(1998年)1月 タケダ・イタリア・ファルマチェウティチ(株)の経営権を取得

平成10年(1998年)1月 ラボラトワール・タケダ(株)を100%子会社化

平成10年(1998年)3月 英国に武田ヨーロッパ・ホールディングス(株)(現・連結子会社)を設立

平成10年(1998年)4月 米国武田(株)とタケダ・ケミカル・プロダクツ米国(株)を合併し、タケダ・フード・ビタミン米国(株)を設立

平成10年(1998年)5月 米国に武田ファーマシューティカルズ・アメリカ(株)(現・連結子会社「武田ファーマシューティカルズ・ノースアメリカ(株)」)を設立

平成10年(1998年)9月 英国に武田欧州研究開発センター(株)(現・連結子会社「武田グローバル研究開発センター(欧州)(株)」)を設立

平成12年(2000年)6月 動物用医薬品事業を武田シェリング・プラウ アニマルヘルス(株)に営業譲渡

平成13年(2001年)1月 武田ファーマシューティカルズ・アメリカ(株)が武田アメリカ研究開発センター(株)を合併し、武田ファーマシューティカルズ・ノースアメリカ(株)に改称

平成13年(2001年)1月 タケダ・フード・ビタミン米国(株)、タケダ・ヨーロッパ(有)他の全株式を売却するとともに、ビタミンバルクの国内販売事業をビーエーエスエフ武田ビタミン(株)(その後、BASF武田ビタミン(株)に社名変更)に営業譲渡

平成13年(2001年)4月 エムシー工業(株)、久聯化学工業(株)他の株式を売却するとともに、化学品事業におけるウレタン等に関わる事業を三井武田ケミカル(株)(現・持分法適用関連会社)に営業譲渡

平成13年(2001年)7月 タケダ・アメリカ(株)が武田アメリカ・ホールディングス(株)他と合併するとともに、存続会社であるタケダ・アメリカ(株)は合併後武田アメリカ・ホールディングス(株)(現・連結子会社)に改称

平成13年(2001年)11月 米国に武田研究投資(株)(現・連結子会社)を設立

平成14年(2002年)4月 食品事業を武田キリン食品(株)(現・持分法適用関連会社)に営業譲渡

平成14年(2002年)4月 タケダ・ヨーロッパホールディングス(株)が持分法適用会社であったタケダ・ファルマ(有)(現・連結子会社)の持分を追加取得したことにより、同社及び同社の販売子会社を連結の範囲に追加

平成14年(2002年)7月 アイルランドに武田アイルランド製薬(株)(現・連結子会社)を設立  
平成14年(2002年)11月 武田アグロ製造(株)、タケダ園芸(株)他の株式を売却するとともに、農薬事業を住化武田農薬(株)(現・持分法適用関連会社)に営業譲渡  
平成15年(2003年)4月 生活環境事業を日本エンバイロケミカルズ(株)に営業譲渡  
平成16年(2004年)1月 米国に武田グローバル研究開発センター(株)(現・連結子会社)を発足  
平成17年(2005年)3月 武田アメリカ・ホールディングス(株)を通じて、米国の研究開発バイオベンチャーであるシリックス(株)を買収し、武田サンディエゴ(株)(現・連結子会社)に社名変更  
平成17年(2005年)4月 生活環境事業を営む日本エンバイロケミカルズ(株)他の株式を大阪ガス(株)の子会社である大阪ガスケミカル(株)に譲渡  
平成17年(2005年)6月 動物用医薬品事業を営む武田シェリング・プラウ アニマルヘルス(株)の株式をシェリング・プラウ(株)に譲渡  
平成18年(2006年)1月 ビタミンバルクの国内販売事業を営むBASF武田ビタミン(株)の株式をBASFジャパン(株)に譲渡  
平成18年(2006年)2月 情報システムの開発・運用業務を目的として(株)日立インスファーマ(現・持分法適用関連会社)を設立  
平成18年(2006年)3月 湘南工場(神奈川県)における生産を終了  
平成18年(2006年)4月 化学品事業を営む三井武田ケミカル(株)の株式を三井化学(株)へ譲渡  
平成18年(2006年)4月 武田食品工業(株)が会社分割によりハウスウェルネスフーズ(株)(現・持分法適用関連会社)を設立するとともに、同社へ飲料・食品事業を譲渡  
平成18年(2006年)8月 英国に武田ファーマシューティカルズ・ヨーロッパ(株)(現・連結子会社)を設立  
平成19年(2007年)3月 オランダに設立した武田ヨーロッパ・ホールディングス(有)(現・連結子会社)を通じて、英国のバイオベンチャーであるパラダイム・セラピューティック社を買収し、武田ケンブリッジ(株)(現・連結子会社)に社名変更